



北本市は市制施行
40周年を迎えます

Grow 広場を 育てる会議

人とまちを 元気にし 発信する ための会議



5月26日(木)に北本市文化センターにて「第1回(仮称)広場を育てる会議」が開催された。

今年度初めての会議であったため、まずはじめに昨年度のプロジェクトのおさらいと今年度の目標が紹介された。その後、ファシリテーター

である筑波大学渡和由准教授から、この会議の位置づけについて「この会議は、ポジティブな意見を積み重ねていくことで、北本から元気を発信し、人を元気にしていくことが目的です!」との説明があった。さらに、集まった参加者からは、自己紹介を兼ねた各々

の広場の使い方に対するアイデア(詳細は裏に記載)が出され、全員で情報を共有した。この会議には、市民の方と9つの市民団体(キタミン・ラボ舎、北本市まちづくり観光協会、鴻巣北本青年会議所、北本市農業青年会議所、北本あきんど塾、北本市商工会青

年部、北本高校生徒会、Kitamoto Design Project)が出席した。さらに当日は他大学から研究室の見学や、ケーブルテレビから取材など、50名ほどの参加があり、会場は活気にあふれた。

イベントを 行い みんなで 広場を育てる



イベントの企画については、出来る上がる前の広場を使うものや、小さなイベントを何度も行うことで市民に駅前広場に対して感情移入してもらえるような提案があった。また、他の地域のまちづくり団体とネットワークをつくり、情報交換をすれば、まち

づくりの知識を共有できるのではないかという意見も出された。他にも、地域の学校の吹奏楽部や軽音楽部にオープニングイベントにおいてファンファーレを演奏してもらうなどの具体的な提案もあがった。こうした互いの考えを共有

することで、今後の活動に対する熱意を確認することができた。今回の会議では、ここから一歩踏み込んだ、より具体的な内容を話し合うことが期待できる。



▲今年度のプロジェクト組織図

あたらしい 駅前広場で やりたいこと

映画上映会や明後日朝顔を用いた企画を行いたい。
(キタミン・ラボ舎)

一人でも多くの人に北本を好きになって欲しい。10月末にキャンドルナイトを行いたい。
(鴻巣北本青年会議所)

地場産業と地産地消を意識して、北本の野菜を駅前広場で販売したい。20~30代の若い農家に期待している。
(北本市農業青年会議所)

小学生の活動や、お母さんのためのイベントを行いたい。
(市職員・PTA)

北本唯一の高校である。学園祭のプレイベントを駅前広場でやりたい。
(北本高等学校生徒会)

北本駅前でバザールを開催し、物販の市として市民に定着させていきたい。文化、物販などさまざまなものがある市として新しいスタイルを提案していきたい。
(北本あきんど塾)

40歳以下の商業と工業を含む経営者の集まりである。北本のまちを元気にしたい。
(北本市商工会青年部)



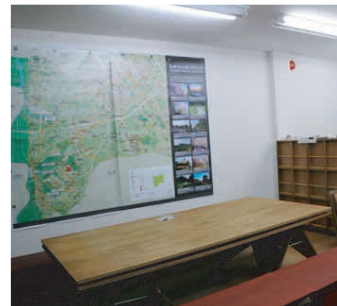
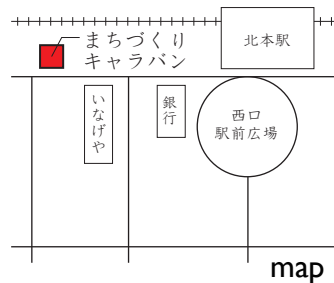
北本のピアノコンクールは知名度がある。それをもっとアピールしたい。
(ピアノを教えている市民)

廃油キャンドルプロジェクトを今年も行いたい。市内のサイクルをデザインしたい。
(Kitamoto Design Project)



市内外の人に北本をアピールし、SNSやWi-fiを活用した観光客の集客を試みたい。
(北本まちづくり観光協会)

新たな まちづくり キャラバン での次回



6月14日(日)
まちづくりキャラバン オープン
事務局：北本市産業観光課

6月26日(日)
北本手仕事市@マルシェ通り
主催：北本手仕事市実行委員会
協力：顔プロ

6月30日(木)
第2回広場を育てる会議
@まちづくりキャラバン
主催：顔プロ

7月28日(木)
第3回広場を育てる会議
@まちづくりキャラバン
主催：顔プロ

今回は、駅前広場の工事日程や既にあるイベントに合わせ、新たなイベントのスケジュールを決めていく。白紙の巨大なスケジュール表を用意して、そこにみんなでアイデアを書き込んでいく予定。そこで出てきたイベント案の実現していく上での問題を

具体的に解決していく。次回の「(仮称)広場を育てる会議」は、6月30日(木)18時30分より、まちづくりキャラバンにて開催される。ワンコインで軽食付きの懇親会も行う予定。申し込みは不要。

Event イベント 情報

*個々のイベントへの問合せは各主催者又はまちづくりキャラバンへ